



開催要項（抜粋）

1 競技規則

現行の一般財団法人全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則及び剣道試合・審判細則による。

2 競技方法

- (1) チーム対抗の団体戦とする。
- (2) チームを4又は5チームごとの16ブロックに区別してリンク方式による予選リーグ戦を行い、各ブロックの1位チームによる決勝トーナメントを行う。
- (3) 予選リーグ・決勝トーナメントとも試合時間は4分とし、制限時間に勝敗が決しないときは引き分けとする。
- (4) 予選リーグ戦の順位決定は、次の順序で行う。
 - ① チームの勝数が多い方とする。
 - ② チームの勝数が同数の場合は、チームの敗数が少ない方とする。
 - ③ ①②が同数の場合は、チームの勝者数が多い方とする。
 - ④ ①②③が同数の場合は、チームの総本数が多い方とする。
 - ⑤ ①②③④が同数の場合はチームの代表者による抽選で決定する。
- (5) 決勝トーナメントの勝敗決定は、次の順序で行う。
 - ① チームの勝者数が多い方が勝とする。
 - ② ①が同数の場合は、チーム総本数が多い方を勝とする。
 - ③ ①②が同数の場合は最初の引き分け者による代表者戦によって勝敗を決する。
 - ④ 代表者戦は、4分間1本勝負とし、制限時間内に勝敗が決しないときは2分ずつの延長戦を勝敗が決するまで繰り返し行う。
- (6) チームの編成は、次のとおりとする。

監督	1人
選手	5人（70歳以上1人以上、65歳以上1人以上）
交代選手	2人以内
合計	8人以内

（監督は選手を兼任できるが、その際は選手としても登録する。）
- (7) チームの選手は7段以下とし、交代を行っても競技する5人のうち65歳以上が1人以上、70歳以上が1人以上含まれるものとする。
- (8) 選手のオーダー編成は、年齢の若い順とする。
- (9) 交代選手の起用については認めるが、交代した選手は再度出場することができない。この場合においても(8)に従い、オーダー編成を行う。
- (10) 監督会議後の選手交代も(7)のチーム編成とし、年齢の若い順に編成し直すこととする。

3 大会規定

- (1) 参加者の年齢は60歳以上（昭和31年4月1日以前に生まれた人）とする。ただし、選手5人のうち、70歳以上1人以上、65歳以上1人とする。
- (2) 65歳以上とは昭和26年4月1日以前に生まれた人、70歳以上とは昭和21年4月1日以前に生まれた人とする。
- (3) 試合の組合せは、主催者で行う。
- (4) 監督・交代選手についても、剣道着・袴とする。